

5月の巡回指導の結果

	交通関係	その他	合計
小学生	9件	0件	9件
	(14人)	(0人)	(14人)
中学生	2件	3件	5件
	(3人)	(9人)	(12人)
高校生	0件	3件	3件
	(0人)	(7人)	(7人)

<6月の育成指導重点事項>

- 水難事故防止のための危険箇所や遊泳禁止区域の巡視(～8月)
- ※ 交通関係における主な指導内容
 - ・自転車乗車時のヘルメット着用について
 - ・右側歩行について
 - ・スクールゾーンや歩道歩行について
- ※ その他【体調不良による遅刻や時間外の外出等について】(20:00以降)

自転車の交通ルール3択クイズ(正しいのは?)

- 1 道路交通法上、自転車はどこを通行するのが原則でしょうか。
 - ① 歩道の真ん中 ② 車道の左側 ③ 車道の右側
- 2 信号機のない交差点で一時停止の標識がある場合自転車はどうする。
 - ① 徐行すればそのまま通り抜けてよい
 - ② 止まらず安全を確認して通り抜ける
 - ③ 必ず一時停止をして安全を確認する

自転車の利用時は「あたりまえ」の交通ルールを実践することが大切です。自転車の交通ルールを確認しましょう。

答えは右下に

教育相談室

5月の教育相談の状況 (件数)

学校生活に関すること・・・13
心身に関すること・・・3
家庭生活に関すること・・・1
その他・・・1

相談場所リナシティかのや2階福祉プラザ内

月～金 9:00～16:30

☎ 44-8799

0120-555-655 

⚠ 不審者情報 ⚠

日時 : 5月11日(月) 15:20頃
場所 : 鹿屋市礼元2丁目国道220号線沿いの路上
内容 : 小学生男児が複数で通行中、すれ違った男から「止まらなければ罰金だぞ。」などと声をかけられました。男児らは不安になり、その場をはなれました。
男の特徴 : 50～60歳位、身長160～170cm位、やせ型、黒色短髪、上下黒色の服着用

日時 : 5月20日(水) 16:00頃
場所 : 鹿屋市上野町県道550号線沿いの路上
内容 : 女子高校生が下校中、後方から近づいてきた男から「さっきすれ違ったよね。一緒に家について行ってい。」などと声をかけられました。高校生がきっぱり断ると男はその場から立ち去りました。
男の特徴 : 20～30歳位、身長165～175cm位、中肉、黒色短髪、マスク、上衣黒色のTシャツ、下衣ジーパン

日時 : 5月25日(月) 15:40頃
場所 : 鹿屋市笠之原町県道550号線付近の路上
内容 : 女子高校生が通行中、車に乗った男から「アメいる?」と声をかけられました。高校生がきっぱり断ると男は車で走り去りました。
男の特徴 : 60～80歳位、黒色短髪、白色マスク、上衣黒色の半袖、白色の自動車使用

日時 : 5月29日(金) 15:50頃
場所 : 鹿屋市西原1丁目付近 敷地内
内容 : 小学生女児が下校中、男から「名前を教えて」などと声を掛けられ、しつこくつきまとわれました。女児が防犯ブザーを鳴らしたところ男は逃走しました。
男の特徴 : 40～50歳位、身長160～170cm、小肥り、黒髪短髪、上衣黒色半袖、下衣茶色の長ズボン着用

不審者が多数出ています。普段から【いかのおすし】の徹底や防犯ブザーの確認を!!

答え 1→② 2→③

「地域みんなで子供たちを育てる」

鹿屋市立串良小学校 校長 佐藤 光秀

串良小学校敷地は、応永(1394～1428年)末期頃、鶴亀城(串良城)があったところです。校庭の岩山には山城であった鶴亀城記念碑も残されています。この地域の近くには事代主神社があり、その後方には岡崎古墳群もあります。この一帯は笠之原台地の南西端に位置し、古墳が多数出土しているところです。少し小高い丘から国見山系と志布志湾を見渡すことができ、そこから見える日の出はとても神々しい感じがします。おそらく1500年前も同じ光景を見ていたのではないのでしょうか。この素敵な串良校区には校区運動会、校区駅伝大会、子供神輿、鬼火焚き、棒踊り、串良人旅立式等の地域行事が脈々と受け継がれ、地域と子供たちをつないでいます。

さて、令和8年度串良小学校は「自ら学び、心も体も健康で、みがき高め合う串良の子供を育てる」の学校教育目標のもと、「のびゆく楽しい串良小」を合言葉として全職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。また、学校経営方針の一つとして「ATG(明るく・楽しく・元気)」な串良小にしようと児童、教職員一体となって過ごしています。私たちの目の前にいる子供たちは、串良(鹿屋)の将来を担う何よりの宝であり、一人一人が豊かな可能性を秘めています。一方、彼らの将来は急激な社会変化の中で、厳しいことも多々あることと予想されます。こういう時だからこそ、心豊かに強くたくましく生き抜く人間に育てなければならないと思います。また、地域と共にある「みんなの学校」も目指しています。「地域の子は、地域で育てる」とよく言われますが、串良地域の「子供や学校を大切に思う風土」は正に宝であり、実に優れた教育環境です。コロナ禍で人とのコミュニケーションが希薄になりつつあった昨今です

が、地域コミュニティが学校を温かくサポートしようという体制ができています。学校、家庭だけでなく、地域を巻き込んで、子供たちを育てていくことは、便利な世の中だからこそ必要ではないかと思います。子供たちにはこうした地域での行事、体験活動はとても貴重で、子供たちの成長にはかせないものです。学校外での遊び、様々な体験活動、年間を通した行事などは、異年齢の仲間や地域の大人との出会い、共に学び合うことのできる場となります。その中で「人を大切にする力」、「自分の考えをもつ力」、「自分を表現する力」、「チャレンジする力」等の「生きる力」が育まれていきます。是非、子供たちは、子供会活動、地域行事に積極的に参加して地域を盛り上げてほしいです。

「子供を育てるには村じゅう、みんなの力が必要だ。」というアフリカの古い諺があります。学校、保護者、地域が一体となって、串良(鹿屋)の子供たちを温かく見守り、育てていきたいと思っています。

